

# 消化器・肝臓センター



## NEW - す

NO. 81

2022.4



## 消化器・肝臓センターについて

**当院の消化器・肝臓センターは2016年3月に開設され、まる6年をむかえました。今回、改めてセンターの概要をお話します**

当センターは消化器内科と消化器外科が連携を取り、消化器疾患および肝・胆・膵臓疾患の総合診断・治療を行っています。

内科は、7名のスタッフで消化器内視鏡専門医が4名、肝臓学会指導医が2名おり、肝炎・肝硬変や最近増加している潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患などに、より専門的な治療を行っています。また、外科医は7名で、上部消化管（食道・胃）、下部消化管（大腸・直腸・肛門）、肝胆膵疾患の3グループの専門領域に分かれ、内視鏡外科手術を中心にっており、内視鏡外科学会技術認定医は4人で、他施設と比べても充実したスタッフと専門医が多いことが特徴です。

悪性疾患においては、高齢社会となり、2人に1人の割合でがん罹患するなかで、よりQOLを保つ治療が望まれています。内視鏡切除、内視鏡外科手術から開腹術、または化学療法と段階により効果的でどこまで縮小した低侵襲の処置を行えるかを、内科と外科でお互いに専門知識を持ち寄り十分に検討することが大切と考えます。

高齢者でよく認められる鼠径ヘルニアや直腸脱、食道裂孔ヘルニアや逆流性食道炎などにおいても専門的に薬物治療や手術を行うことが可能です。

高齢者は基礎疾患を有する方が多く、当センターでは、各科での検討に加え、メディカルスタッフも一緒にセンターカンファレンスやカンサーボードを行い、全人的な観点で最良の医療を行うことを心がけています。

院長 今本 治彦

市立貝塚病院

TEL: 072-422-5865

